



# 香川民医連 NEWS

2024年1月12日  
NO. 594  
発行者 県連事務局

## 辺野古連帯支援に参加している松浦さんの報告です。

行動日第1日目の感想

米軍基地の見学では、基地から距離はありましたが、とても大きな音でたった5.6回の飛行でも嫌になりそうな音だったので、近くの住民の方々はいてもたってもいられないだろうと思いました。基地まわりの立地などもバス移動の際に説明を受けながら移動しましたが、全て何のためにここまでの広大な立地があるのか、なぜここまでの事を日本がしないといけないのか私たちの税金を使われるのか、沖縄で行われている訓練が、日本全国で行われるようになって聞いた時には、他人事ではないと思い全国で声をあげていく必要があると思いました。

(松浦)



**TPNW 締約国会議に参加した  
多田新さんを囲む集い 1/24(水)**  
会場: 協同病院 ふれあい会議室  
時間: PM3時~4時  
主催: 民医連&県原水協  
~みなさん、こそってご参加下さい。  
NYの風に触れ今年の糧に!~

国連本部に向けて出発前の日本原水協代表团



## 普天間騒音 34%減

### オスプレイ運用停止後

#### 沖縄県が明かす

米軍が普天間基地(沖縄県宜野湾市)所属のMV22を含めオスプレイ全機の運用を停止した直後の週において、同基地周辺での航空機の騒音発生回数が運用停止前と比べ34%減少したことが11日、分かりました。同日の県議会総務企画委員会で日本共産党の、とぐち修典議員が質問したのに対し、県基地対策課が明らかにしました。

米空軍のCV22が鹿児島県屋久島沖で墜落し乗員8人が死亡した事故(昨年11月28日)を受け、米軍は12月6日にオスプレイ全機を運用停止すると発表。とぐち氏はオスプレイ飛行停止後の騒音について「どれだけ軽減しているか」とたずねました。基地対策課の長嶺元裕課長は、県環境部が市町村と連携し実施している騒音測定の実績を公表。運用停止前の週(11月30日~12月6日)の騒音発生が2081回だったのに対し、7日以降の週は1378回だったとした上で「約34%の減少となっている。飛行停止の影響は大きい」と述べました。

とぐち氏は、名護市辺野古に新基地を造り、普天間基地を「移設」しなければ、危険性が除去できないとする日本政府の説明に言及、「いかにまやかしてあるかが証明された。危険性除去をするのであれば、オスプレイの飛行停止と同じように、まず普天間基地の運用を直ちに停止することが一番の道ではないか」と強調しました。

定例社保宣伝: 【市民連合】19日朝7時半/ 【社保協】25日朝7時半/ 【憲法C】第2(水)17時半  
どなたでも参加大歓迎。事前に県連にご連絡下さい(共闘手当扱)/ 【原発行動】最終(金)17時半